

千葉県知事
森田健作様

平成30年4月13日
生活協同組合コープみらい
理事 千葉県本部長 鳥羽 治明

2017年度ちばSSKプロジェクト等に関する取り組み報告書

1. 報告

生活協同組合コープみらいの2017年度「ちばSSKプロジェクトに関する取り組みの年間計画」に基づく、ちばSSKプロジェクトに関する活動状況を報告します。

2. 2017年度計画のまとめ

生活協同組合コープみらいは、商品の宅配など日々の業務と組合員の活動を通して、高齢者の見守りをはじめとする「ちばSSKプロジェクト」の取り組みに協力しました。

I 高齢者の見守り

1. 千葉県内の全市町村と高齢者を見守る協定を結んでいます。高齢者見守りネットワーク事業活動を推進し、日常業務の中で異変を発見した際に、市町村や警察等へ通報します。
- 2017年度に宅配事業と店舗事業において、業務中に異変などを発見し通報した件数は2018年3月20時点で32件（宅配25件、店舗7件）となっています。

【通報などの事例】

- 70～80歳代男性がレジで倒れ動けなくなった。声掛したが反応がなく意識はあるが混濁しているようだった為、救急車を呼び病院に搬送した。
 - 夕食宅配のお届け時に前日分の取り残しがあり、連絡をしたが繋がらず、近所の方と家の周辺を確認したところ、1箇所開いていたドアがあり、中を確認すると家の中で倒れていた組合員（男性一人暮らし78歳）を発見したため、救急搬送の手配をした。
2. 市町村の中で開催されている高齢者福祉に関する会議に引き続き参加し、ともに進められることを進めていきます。
 - 高齢者福祉に関する会議に参加しました。
 - 新地域支援事業に関する会議
 - 白井市生活支援体制整備事業第1層協議体
 - 四街道市地域支えあい推進会議（第1層）
 - 館山市生活支援の協議体（準備会）・館山市いきいき支え愛ネットワーク会議（第1層）
 - 白井市地域ぐるみネットワークふれあい会議（第2層）
 - 君津市西地域ケア会議（第2層）
 - 習志野市秋津ケア会議（第2層）
 - 高齢者見守り等に関する会議
 - 千葉市千葉市孤独死防止通報制度連絡会議
 - 富里市高齢者見守り協力事業者ネットワーク事業情報交換会

白井市高齢者見守りネットワーク連携会議
東庄町見守りネットワーク事業連絡会議

II 「ちばSSKプロジェクト」

1. 「ちばSSKプロジェクト」の普及啓発に努めます。
 - (1) 高齢者見守り事例などを基にした普及啓発
 - (2) 組合員向け広報紙、ホームページへの掲載
 - (3) イベント開催・参加におけるパネル展示等（コープみらいフェスタきやっせ物産展など）
- 情報紙『ちばインフォメーション（約38万部発行）』9/11号に「ちばSSKプロジェクト」の記事を掲載し、地域での見守りネットワークについて紹介しました。
- 千葉県「平成29年度消費者フォーラムin千葉」（5/23）に参加し、コープみらいの高齢者支援の取り組みを紹介するパネルを展示しました。
- 「コープみらいフェスタきやっせ物産展2018」（2/18幕張メッセ、約3万5千人が来場）に、千葉県くらし安全推進課及び千葉市消費生活センターにご出展いただき、振り込め詐欺などの被害防止のための普及啓発活動に協力しました。

III 認知症対策

1. 正規職員採用者（新卒と中途）にカリキュラムとして位置づけられている認知症サポーター養成研修を引き続き実施します。
 - コープみらいでは、2009年度より採用時研修の中で認知症サポーター養成講座を実施しています。又各事業所の責任者が、認知症サポーター養成の講習ができるように講座を受け各事業所での講習を行なっています。認知症に対する知識と理解を持って、地域における見守り活動を進めています（2017年度実績：112名）。
 - 組合員活動の中で認知症サポーター養成講座を進めました。2区ブロック委員会（八千代市包括支援センターと連携。受講者7名）、4区ブロック委員会が（千葉市地域包括ケア推進課と協力。受講者24名）がそれぞれ実施しました。
 - 松戸市常盤平地域包括支援センターの認知症カフェの開催に会場提供などで協力しました。

IV 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

1. 地域との関わりを持つためのきっかけづくりや活躍の場につなげ地域を豊にすることを目的にコープみらいカレッジ（4期）を開校します。
 - 50歳以上の組合員を対象としたコープみらいカレッジ千葉校を、千葉県や産直取引先にご協力いただき、昨年に引き続き「食を通してもっと千葉を知ろう」をテーマにカリキュラムを組み立て、12名の受講生を迎えて実施しました。
2. 社会貢献活動助成制度で高齢者を応援するグループへの表彰・助成を行なっていきます。
 - 実績はありませんでした。
3. 地域でのグループ活動を応援する「地域クラブ」の制度を地域に広げ、高齢者のつながりづくりや取組みを応援していきます。
 - 組合員と地域の方の自主的な活動を応援する「地域クラブ」の仕組みを使って、多くの高齢者の方が健康や食、福祉などをテーマに、生き生きと活動しています。また、高齢者のくらしをサポートする活動も活発に行なわれています。

【地域クラブの事例】

地域クラブ エンジョイダンスは 30 代～70 代の幅広い年齢層で異世代交流しながらフィットネスダンスや筋トレ・ストレッチを通してストレス発散し健康を維持しています。

- 「千葉市ごみ出し支援事業補助金」チラシを、千葉市内地域クラブに配布してお知らせしています。

4. 地域に開かれた笑顔あふれる居場所「みらいひろば」を千葉県内の各地で毎月開催し、高齢者を含む多世代の参加者が交流できる場を応援します。

- 県内各地約 90 箇所で開催している「みらいひろば」は、組合員と地域の方が自由に参加できるコミュニティです。ご高齢の方も多数参加し、高齢者の仲間づくりの場、居場所としての役割を果たしています。

【みらいひろばでの事例】

みらいひろば佐倉志津に地域包括支援センターの生活コーディネーターが参加し、高齢者福祉について交流しました。

みらいひろばみさきで市の高齢者支援課の職員を招き、家庭でできる健康体操を行い、運動するメリットについて話を伺いました。

みらいひろば花見川店で、千葉市が介護予防事業のひとつとして進めている高齢者向けシニアリーダー体操教室を、同教室に参加したことのあるメンバーからの発案で、市のボランティアを講師に迎えて実施しました。

その他

- コープみらいの移動店舗ふれあい便は、「地域にお店のない過疎地の高齢者の暮らしを支える社会貢献事業とすること」「生協の幅広い事業やサービスを提供すること」「移動店舗と担当者が来るのを待ち遠しいと思ってもらえること」「停留所が地域のコミュニティの場になること」を目指して、袖ヶ浦市にあるミニコープ蔵波店を拠点に、市原市、木更津市、君津市の買物が困難な地域や高齢化の進んだ団地、高齢者施設の 63 ヶ所の停留所を週 1 回巡回し、高齢者の買物を支援しています。
- 富津市より高齢者の居場所作りの相談を受けてコープみらい 5 区ブロック委員会が「大貫ふれあいシニア館に寄ってみっぺ」を開催（9/6）。骨密度測定、防災用品展示、非常食試食などを実施し、地域の高齢者が多数参加しました。
- 館山市「たてやましかいごフェスタ」（11/4）に参加しました。
- コープみらい津田沼デイサービスで、地域包括支援センターに協力して高齢者の仲間づくり、居場所を提供しました。
- コープ花見川店サービスカウンター横で、千葉市消費生活センターが 2 ヶ月に 1 回相談窓口を設置し、消費者センターの紹介および簡単な相談を受け付けました。

V 高齢者の安全、安心

1. 振り込め詐欺やひったくり被害対策の普及啓発につとめます。

(1) 組合員向け配付物への掲載

(2) 市町村との消費生活課と連携して、消費者力向上の啓発に協力します。

- みらいひろば向けの広報媒体に特殊詐欺についての情報、コープみらいや地域で行ってい

る高齢者支援の取り組みを紹介しました。

- ちばし消費者応援団への登録から消費者被害の情報の提供を行ないました。
- 千葉県「暮らしのおまもりフォーラム2018」に参加し、出展者と交流しました。

3. 添付資料

『ちばインフォメーション』9/11号、『コープみらいサステナビリティレポート2017』抜粋

以上